

星天ニュース

第2号

発行日：平成19年2月20日

発行：横浜市道路局

編集：相模鉄道株式会社

～相鉄線の連続立体交差事業のお知らせです。～

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は、立体化工事中における工事区間の踏切の安全対策についてお知らせいたします。

星川2号踏切の移設日程について

前号でお知らせしました星川2号踏切（水道道：横浜市道鶴ヶ峰天王町線）の移設日程が決定いたしましたのでお知らせいたします。踏切に接続する道路を含めた切替えを、

平成19年3月10日（土）6：00（早朝）

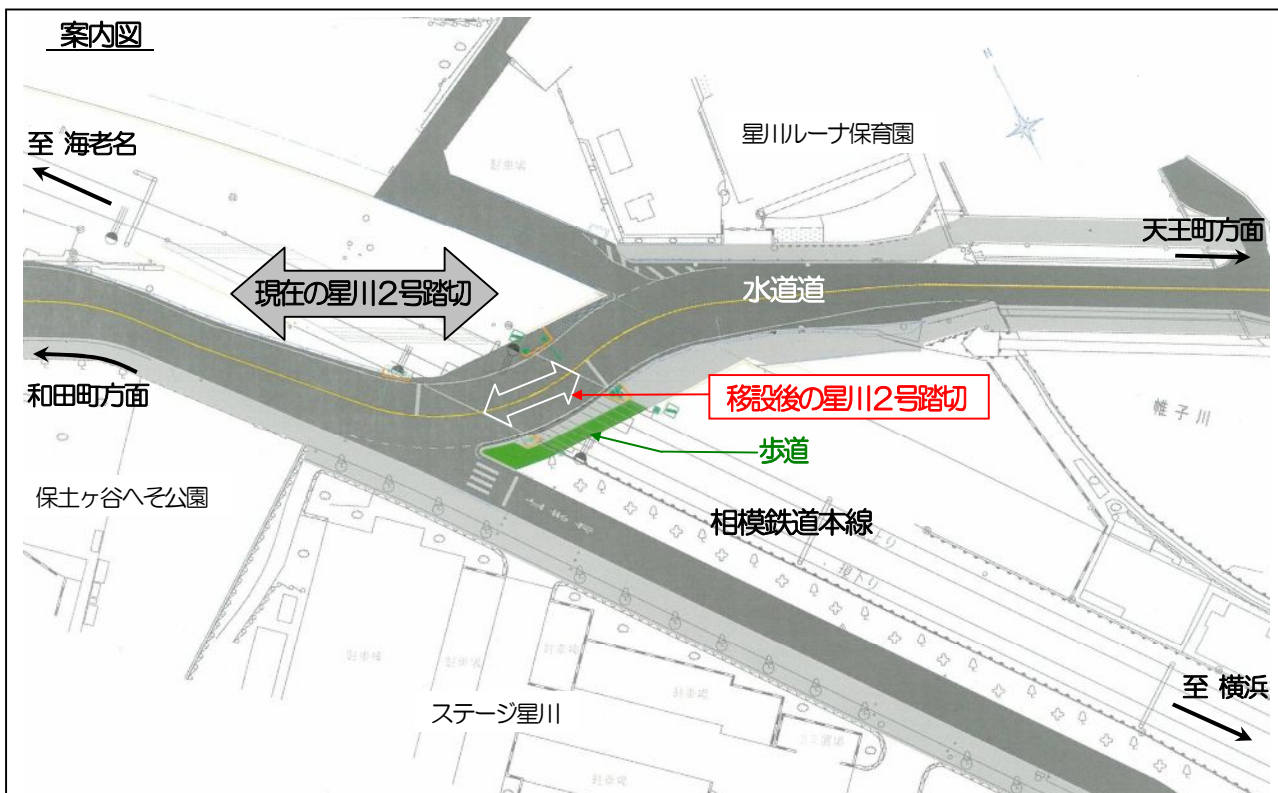
に行います。荒天による延期の場合は、平成19年3月11日（日）6：00（早朝）となります。

切替えた状態では下図の通り横浜方に歩道が設置され、宮川橋（帷子川の橋梁）からへそ公園まで歩道が連続する形態となります。車にて通行される方には、カーブの続く形態となり、ご不便をおかけすることとなりますが、今後の立体化工事に伴う線路切替えにより、踏切横断距離が長大化することへの安全対策として実施するものですので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、本年10月末には、現在の上り線が北側（帷子川側）に敷設する仮上り線に切替わる予定です。この段階において、踏切を横断する距離が最大の24m程度となりますが、今回の踏切移設により、現在の距離と同程度に保つこととなります。その後、平成20年度に予定する仮下り線切替えにより、踏切を横断する距離は、今回の切替え時と同程度の12m程度に短くなります。



移設工事中の星川2号踏切（平成19年2月撮影）



他の踏切の工事中における安全対策について

事業区間における星川2号踏切以外の踏切についても、線路の切替えにより踏切横断距離が長くなる等、形態が変化します。このため、工事中の安全対策として、歩道設置による拡幅や、踏切内の歩道面を着色することによる車道との分離明確化等を実施します。

連立事業区間の踏切における工事中の安全対策は下表の通りです。

踏切名	対策種別	実施時期
天王町2号	歩車道分離明確化 (歩道着色)	平成19年 5月
天王町3号	歩車道分離明確化 (歩道着色)	平成19年 5月
星川1号	拡幅 (歩道設置)	平成19年 5月
	歩車道分離明確化 (歩道着色)	
星川2号	移設 (踏切長軽減)	平成19年 3月
	拡幅 (歩道設置)	
	歩車道分離明確化 (歩道着色)	
星川3号	拡幅 (歩道設置)	平成18年12月
	歩車道分離明確化 (歩道着色)	平成19年 3月

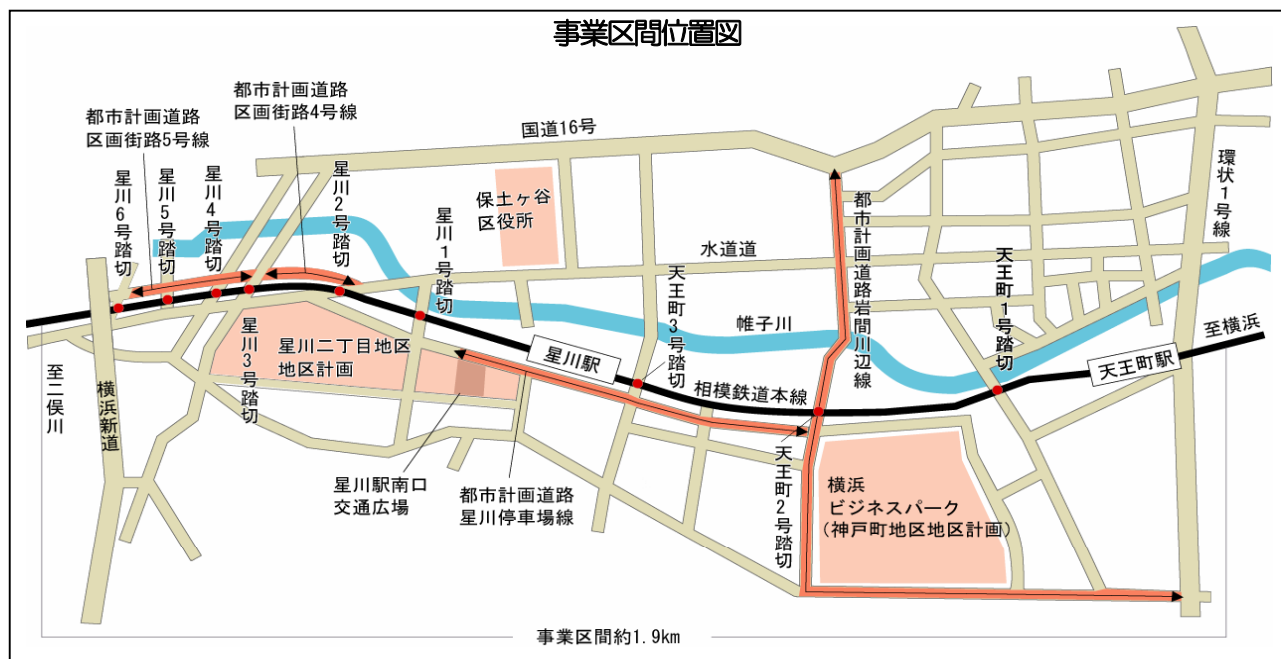


遮断機力を軽減された天王町3号踏切 (平成19年2月撮影)



拡幅された星川3号踏切 (平成19年2月撮影)

事業区間位置図



～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ …… 横浜市 道路局 計画調整部 鉄道交差調整担当
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ …… 相模鉄道(株) 鉄道カンパニー 施設部
星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所
Tel 045 (335) 6733